

「2019年度 全国学力・学習状況調査」の結果について

智辯学園奈良カレッジ小学部

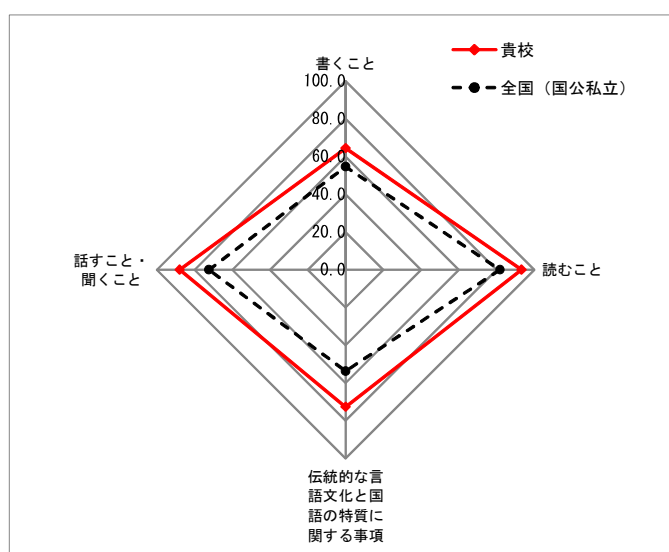
6年生が本年度4月に受験した全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。調査は、国語・算数と児童質問紙の3種類で、今年から新学習指導要領の趣旨を踏まえ、従来のA問題（知識・技能等）とB問題（活用等）という区分が見直され、知識・活用を一体的に問う調査問題になりました。

本校では、児童の基礎学力を確認するのに良い機会と考え、毎年調査に参加しています。また、児童質問紙で児童各人の生活の様子がわかるのも本調査のメリットであると考えています。

以下が本校6年生の結果です。

【国語】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			本校	全国
全体		14	79	64.0
学習指導要領 の領域等	話すこと・聞くこと	3	87.9	72.4
	書くこと	3	64.4	54.6
	読むこと	3	93.2	81.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	5	72.7	53.7
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	72.7	57.8
	話す・聞く能力	3	87.9	72.4
	書く能力	3	64.4	54.6
	読む能力	3	93.2	81.8
	言語についての知識・理解・技能	5	72.7	53.7
問題形式	選択式	7	86.4	75.2
	短答式	4	69.3	48.9
	記述式	3	72.7	57.8



左のグラフから国語の基礎学力や思考力はしっかり養われていることが分かります。「書くこと」については他の3領域よりは得点率が低いです。意欲的に取り組む児童が多く、余り心配することはないと考えています。児童質問紙の回答でも、「全ての書く問題で最後まで回答を書こうと努力した」という質問に「当てはまる」と回答した児童は93.2%でした。

国語で残念だったのは漢字書き取りの問題の正答率が70%程度だったことです。同音異義語や和語の書き取りは意識的に学習しておく必要があります。漢字書き取りはきちんと勉強しておけば満点も夢ではありません。日頃の学習が大切です。

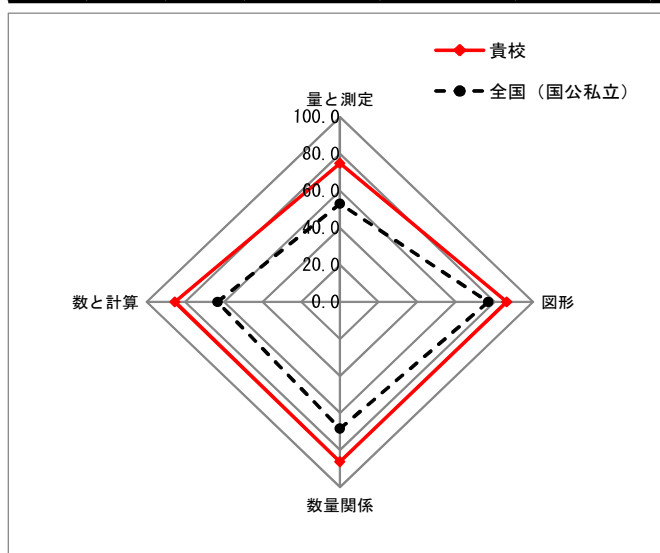
また、国語で扱う教材（文章）の内容は非常に多岐にわたります。ですから、日頃からいろいろな分

野に興味・関心を広げることが大切です。今回の調査で「読書は好きですか」という質問に「当てはまる」と回答した児童は65.9%で「どちらかという当てはまる」もいれるとほぼ90%におよび読書習慣は身につ

ていると思います。しかし、「新聞を読んでいますか」という質問に「ほぼ毎日読んでいる」「週に1～3回読んでいる」と回答した児童はあわせて34.1%で昨年の約50パーセントを下回る結果でした。自分の好きなジャンルの書物ばかりを読むのではなく、幅広い分野に目を向けて、論理的な文章も読んで自己の世界観を広げる必要があります。また、現実の世界で起こっていることに対しても意欲的に情報を得ようとする姿勢が大切です。新聞やノンフィクションを読んで、自分を取り巻く狭い世間から広い世界に目を向けて欲しいと願います。自分とは違った価値観を持った者との協働も必要な時代になってきます。素直な心で書物に向かい合い、寛容な心で人の話を聴くということが今後求められる力であると考えます。そうして自分の考えや意見をじっくりと醸成し他者にわかりやすく説明できる表現力の向上も大切です。そういう力を養えるように今後とも丁寧な教科指導を続けていこうと考えています。

【算数】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			本校	全国
全体		14	84	66.7
学習指導要領 の領域	数と計算	7	85.4	63.3
	量と測定	3	75.0	53.1
	図形	2	86.4	76.8
	数量関係	7	86.4	68.5
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0		
	数学的な考え方	8	81.5	62.4
	数量や図形についての技能	4	91.5	73.7
	数量や図形についての知識・理解	2	81.8	70.2
問題形式	選択式	5	85.0	75.8
	短答式	5	94.5	73.0
	記述式	4	71.0	47.6



左のグラフからどの分野もバランスよく、算数の基本的な学力が養われていることが分かります。また上の表から応用力や算数的思考力も備わっていることも分かります。

児童質問紙の回答では、「算数の勉強は好きだ」81.8%（「どちらかといえば、当てはまる」を含む：以下も同様です）、「算数の授業の内容はよく分かる」88.6%、「算数の勉強は大切だ」95.5%、「算数で学習したことは将来社会に出たときに役に立つ」93.1%となっていて、本校児童が算数に対して高い意欲と関心を持っていることが分かります。

算数は、「論理的な考え方ができる脳」を鍛えるために学びます。つまり、物事の正しい順番を考えて推測したり説明したりできる能力を養うことが学び

の目当てです。単に答えが合っていればよいという教科ではありません。いろいろな解き方を考え、解答に至るまでの思考過程を楽しむことが大切です。また、難しい問題に挑戦して解けたときの達成感を覚えていくと、世の中のいろんな問題に対して何とか解決しようとするチャレンジ精神を持つことができます。

本校児童は、算数の基礎学力は十分に身につけているので、今後は、基礎学力のさらなる充実とそれを応用する力を養い、算数を学ぶ楽しさを知って欲しいと思っています。主体的に問題に取り組み、論理的思考の楽しさや論理的整合性の美しさを味わえるような児童になってくれることを期待して丁寧な教科指導を続けていこうと考えています。

学習についての総括

質問事項		選択肢					
		2時間以上	1時間以上	30分以上	10分以上	10分未満	0分
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）	本校	38.6	40.9	13.6	6.8	0.0	0.0
	全国	12.7	16.9	36.6	23.9	7.5	2.3

上記の表から本校児童はそれなりに学習に時間をかけているといえます。

ただ、時間も大切ですが、効率も考えなければなりません。時間に見合う成果が出ているのか、今後しっかり検証することが大切だと考えています。

これまで学習といえば、「知識をしっかりと身につけること」に力が注がれ、知識があれば難関と言われる大学にも合格できました。しかし、これからは、知識を身につけることは勿論大切ですが、それ以上に知識を使って考える力や判断する力、自分の考えや意見を論理的に表現する力などが求められます。

本校では昨年度からICT設備を活用し、児童同士が学び合える授業（アクティブラーニング）を積極的に展開しています。また、学んだことを実生活に活用する力や答えのない問題を自分たちで議論しながら解決の道を探るといった取り組みなどにも挑戦しています。自主的・自律的に学習に取り組み、身につけた知識を活用して教科横断的で総合的な思考ができる力を養うことを大切にしながら、今後の教育に取り組んでまいります。

【児童質問紙】

基本的な生活習慣及び規範意識

質問事項		選択肢	
		している（思う）	どちらかといえば
朝食を毎日食べていますか	本校	72.7	6.8
	全国	86.7	8.6
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	本校	34.1	47.7
	全国	38.9	42.5
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	本校	68.2	25.0
	全国	58.7	32.9
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	本校	61.4	20.5
	全国	50.2	27.2
学校に行くのは楽しいと思いますか	本校	59.1	31.8
	全国	54.0	31.8
学校のきまりを守っていますか	本校	43.2	50.0
	全国	46.7	45.7
人が困っているときは、進んで助けていますか	本校	34.1	50.0
	全国	40.4	47.5
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	本校	81.8	15.9
	全国	85.0	12.1
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	本校	79.5	13.6
	全国	74.7	20.5

本校児童たちは楽しく登校してくれているようですが、約1割の児童がそうではないと回答していることが気になります。随分疲れているなど感じる児童がいることも事実です。上の表から「朝食を毎日食べていますか」という質問について、本校6年生の20%が朝食を取らずに登校していることが分かりました。これでは午前中の授業での集中力は持ちませんし、健全な成長も期待できません。また、起床時間は一定しているようですが、就寝時間はあまり定まっていないようです。「早寝・早起き・朝ご飯」は、児童の生活習慣を整え、一日のリズムを生み、健全な身体と精神を養い、ひいては学力の向上にもつながり、学校を楽しんでいる根本ともなります。

また、本校児童は規範意識もしっかりと身につけています。人の役に立つ立派な人間になりたいという意識や「いじめ」を決して許さないという意識を持っていることも嬉しく思います。これからも仏教の教えを基に心優しい人物を育みたいと考えています。

本校では、今後も児童の見守りをしっかりと行い、丁寧な指導を心がけてまいりますので、ご家庭でのご指導もご協力くださいますようお願いいたします。

自尊心・挑戦心及び社会に対する関心

質問事項		選択肢	
		している (思う)	どちらかとい えば
自分には、よいところがあると思いますか	本校	43.2	34.1
	全国	38.9	42.4
将来の夢や目標を持っていますか	本校	65.9	20.5
	全国	65.9	17.9
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	本校	84.1	11.4
	全国	79.5	15.6
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	本校	31.8	34.1
	全国	30.2	48.9

上の表から本校児童は将来に夢を抱いて、物事をやり抜こうとする気持ちを持っていることがわかります。ただ、「よいところがあると思いますか」「失敗を恐れずに挑戦していますか」については全国平均よりやや値が低くなっています。常に完璧を追い求めると、失敗が怖くなります。失敗して大人から叱られるのではないかと心配になるのです。失敗することや間違えることは決して恥ずかしいことではありません。そこから学ぶことはたくさんあります。失敗を糧にして今後その失敗をどう活かしていくかが大切です。児童たちが失敗を恐れずにいろいろなことに挑戦し、小さな失敗をたくさん積み重ねて大きな成果へとつないでくれることを期待しています。それこそが成長であると思います。

私たち教員は、本校児童の夢の実現のため児童たちと共に試行錯誤しながら歩を進めていける学校でありたいと考えています。また、児童たちが主体的かつ意欲的に、いきいきと活動できる学校を目指して、教育に精励する所存です。どうか保護者の皆様もご協力くださいますようお願い申し上げます。